

「学校におけるプロジェクションマッピングの活用」の実施案

場所 中学校

対象 美術部20名

1. 実施の目的

卒業研究の実践。プロジェクションマッピング作品の作成に向けて、情報機器、使用するアプリケーションに慣れる。プロジェクションマッピングを実際に経験してみる。

2. 実施内容

活動の流れ(2h)13:00~15:00	活動内容
1. 今回の活動に当たっての説明。	・藤原の自己紹介。卒業研究の実践であることの説明をする。
2. 本日の活動内容の説明。	・今回の活動の全体を通しての見通しを説明しプロジェクションマッピング作品を制作していく見通しを持たせる。
3. 実際にダイナマッパーを使用し、活動する。	・本日の活動内容、活動の流れを説明する。 ・プリントを配り、今回使用するダイナマッパーの使用方法を確認させる。
4. 次回の活動の紹介。	・投影するオブジェクト、プロジェクターの準備をする。 ・実際にダイナマッパーを使わせて、使用感を掴ませる。 ・実際にプロジェクターを使ってオブジェクトに画像の投影をさせ、プロジェクションマッピングを経験してみる。 ・順番に一人一回ずつプロジェクターに接続させ、画像の投影を経験させる。 ・次回は、オブジェクトも自分たちで決め、作成する事、貼り付ける画像や動画も自分たちで制作する事を伝える。

3. 準備物

プロジェクター 1台

iPad(ダイナマッパーインストール済み) 20台+教員用数台

ダイナマッパーの説明用プリント 人数分20枚+教員用数枚

投影用オブジェクト (今回は階段の形にしたダンボールを使用予定。側面には白色模造紙。)

ノート PC

鉛筆、クロッキー帳、スケッチブック